

郷土資料館 ふるさと講座・自然系第3回目の様子

冬の野鳥観察会オジロワシ・オオワシ観察会

と き 令和8年2月14日(土)
午前9時～12時30分
と ころ 風蓮湖・本別海(西別川河口・別海漁港)
走古丹(漁港)
講 師 NPO法人野付・エコ・ネットワーク
参加者数 2名



郷土資料館にて、講師よりこの時期多く見られるオジロワシ・オオワシについての説明を受けました。風蓮湖では、伝統的な氷下待網漁との関係により多くのワシが飛来する地域となっていること、さらに近年ハクトウワシが、飛来するようになりバードウォッチャーを楽しませているとのことです。

はじめに風蓮湖に向かいました。雪の降る中の観察となりましたが、氷下待網漁の作業中だったこともあり、近くでオジロワシ・オオワシを観察し、鳴き声もよく聞くことができました。オオワシは、5千羽近く生息しており、風蓮湖では、多い時にはその内の1割の500羽近く確認されているそうです。また、ワシ類の他にもカモ類やハギマシコの群れを観察することが出来ました。



●観察した野鳥

オジロワシ・オオワシ・ハギマシコ・カワアイサ・ウミアイサ・スズガモ・マガモ・オオハクチョウ・トビ・シマエナガ・ホオジロガモ・ハシブトガラス・ハシボソガラス・ゴジュウカラ・コゲラ・アカゲラ・ハシブトガラ・シノリガモ・オオセグルカモメ・ハシビロガモ



オジロワシが近くで観察できました。



小さな点々は、オオワシです。

